

令和7年9月1日クリーンセンター再整備に関する特別委員会の発言

◎環境課課長補佐兼クリーンセンター所長補佐（臼井秀昭君） ちょっとすみません、現状我々のほうで集計してるものをちょっとお話ししますと、まず資本費として施設整備費、要は生ごみ資源化処理施設に幾らかかったか、これは約4億8,000万です。約4億8,000万。それにこの生ごみ資源化処理施設に充てている起債ですとか、交付金、県補助金、もろもろ差引きして、資本費の対象としているのは約3億1,800万、これを20年で割ります。そうすると約1年当たり1,600万ぐらい。これを毎年逗子市さんから頂くという。これが資本費分です。要はイニシャルコストの部分。

それからそれとは別途、ランニングコストとして生ごみの処理に応じてかかってくる金額があるというところでございます。